

斜面変状に伴う対応

1. 貯水池の運用について

1) 貯水位の低下 資料1

湯田ダムの貯水位は、夏期の台風などの豪雨の際に、洪水を貯めて、ダム下流河川での洪水氾濫を軽減するための容量を確保するための水位まで、低下させたところ。

夏期の間は、この水位を維持していくこととなるが、一定規模以上の豪雨の際には貯水位が上昇することとなるが、そのような際に地すべりの動きが確認された場合には、耳取地区住民の避難が必要となることもあるため、引き続き西和賀町をはじめとした関係機関との連携を密としていく。

令和3年度 湯田ダム水位運用計画表

